

イヌマキ等の害虫被害にご注意

日向市内では、イヌマキ等の害虫である「キオビエダシャク」が大量発生し、樹木が枯れる被害が確認されています。

今後、被害の拡大が懸念されますので、ご自宅の庭にイヌマキ（ヒトツバ）、ナギ、ラカンマキがある方は十分注意してください。生態や対処法については、以下のとおりです。

●キオビエダシャクはどんな虫？

成虫は、全体的に濃い紺色で、羽に黄色の帯がある美しい蛾（体長2 cm程度、開張5 cm程度）で、昼間飛び回ります。幼虫は5 cm程度のシャクトリムシで、頭、尻及び側面がオレンジ色で、他の部分は灰色と黒色のまだら模様をしています。

幼虫は振動等に敏感で、木を揺らすと糸を吐いて垂れ下がってきます。イヌマキ等の葉を食害するのは**幼虫のみ**で、全葉食害を繰り返すと樹木が枯死する場合があります。



●発生したらどうやって駆除するの？

①幼虫が大量発生しているとき

薬剤散布が効果的です。薬剤がムラなく葉の裏にもかかるように散布します（幼虫は葉の裏にもいます。）。その後は定期的に観察して発生を確認次第、散布を実施します。

ただし、薬剤散布は幼虫には効果がありますが、成虫、卵及びサナギには効果がありません。

使用する薬剤は以下のとおりです。

薬剤名	希釈倍数	販売取扱店
トレボン乳剤	4,000倍	農薬取扱店(ホームセンター等)
ロックオン	1,000倍	最寄りの農業協同組合(※お取り寄せ)

②その他の場合

木を揺らして落ちた幼虫を捕殺します。

また、木の根元の土中に、茶褐色で紡錘型をしたサナギがいますので、掘り出して捕殺します。成虫は捕虫網などで捕殺します。

【お問い合わせ先】

日向市林業水産課 林業振興係

TEL : 0982(66)1029 FAX : 0982(56)0017

E-Mail : ringyo@hyugacity.jp